みなみさんりくびと

『南三陸人に学ぶプログラム』

~ゼロからの産業再生~

2011 年 3 月 11 日。東日本大震災によって多くの人命 を奪い去った大津波は我々地域住民の働き場所さえも一気 にさらっていきました。

あれからフ年。

未曾有の大震災を経て、南三陸町で懸命に生きる経営者・ 事業関係者たちは何を思い、何を決意し、どのような道を 歩んできたのか?自身の体験談から自社事業の再建につい て、そしてこの震災から得た教訓を伝えていく講話です。

こんな方に オススメ!

- 白治体視察
- 産業団体視察
- 学ゼミ研修

詳細は裏面をご覧ください。



阿部忠彦氏 阿部茶舗 さんさん商店街組合長

「全てを失った商店街から 賑わい溢れる さんさん商店街へ

- 商業の再生
- ·商店街組織運営



山内正文氏 株式会社ヤマウチ 代表取締役社長 南三陸福興市実行委員長

「明るい笑顔で地域を牽引 する行動力」

- ・商業の再生
- ・地域組織の連携



遠藤健治氏

(一社) 南三陸研修センター 代表理事

元:南三陸町副町長

「震災以前の南三陸・ 震災以降のまちづくり」

- ・研修プログラム ・町づくり



阿部富士夫氏 宮城県漁業協同組合

志津川支所 戸倉出張所所長

「厳しい環境であったから こその漁師の結束力」

- ・漁業の再生
- · ASC の取り組み



(株)マルセン食品 取締役社長 まちづくり未来社長

「ゼロからのスタート。 かまぼこ加工業の 新たな取り組み」

- ・商業の再生
- ・商店街組織の運営



及川吉則氏 マルアラ(株) 代表取締役社長 南三陸町観光協会会長

「水産加工業者がスイーツ 開発!? 常に新たなチャレンジを

- ・商業の再生
- ・南三陸町の観光について



佐藤太一氏 株式会社佐久 専務取締役

「震災が教えてくれた 森・里・海・人の繋がり」

- ・林業・FSC の取り組み
- ・自然環境と体験



阿部忠義氏 (一社) 南三陸研修センター

「オクトパスくん誕生の秘密。 ヒラメキのアイディアが 人を呼ぶ」

- ·地域再生
- ・町づくり・物作り



阿部國博氏 南三陸農業協同組合 営農生活部部長

「津波に飲み込まれた 農地の再生 新たなブランド化」

- ・農地再生
- ・農作物の新スランド

お問合せ:一般社団法人 南三陸町観光協会 〒986-0768 宮城県本吉郡南三陸町志津川字御前下 51-1 電話:0226-47-2550 FAX:0226-46-3080

<『南三陸人に学ぶプログラム』お申し込み例>

■ご予約までの流れ

- 1. 下記申込書 or 南三陸町観光協会ホームページへ必要事項を明記の上お申し込みください。
- 2. 当方にて、お客様のご希望の日程と講師の調整をいたします。
- ※講師の日程調整などにより、2週間前までのご予約をお願いいたします。
- ※場合によっては、ご希望の講師の都合がつかない場合もございますのであらかじめご了承ください。

■当日の流れ

- 1. 町内指定の場所にて講師と合流
- 2. 「南三陸人に学ぶプログラム」講話:60分
- 3. 質疑応答: 20 分
- ※プログラム全体で約1時間半ほどの内容になります。
- ※ご一緒に昼食場所のご紹介もいたしますので、 お気軽にご相談ください。

【昼食一例:海鮮丼1,500円(税別)~】

■料金その他

最少催行 人数	5名 (※最大 120 名まで)
料金	20,000 円 (税別・当方指定の会場以外を 使用する場合は会場費別途)
期間	通年(事前予約必要)

お申込み日: 参加申込書 、に学ぶプログラム』 南 | 阿部 □ 阿部 忠彦氏 富十夫氏 □ 佐藤 太一氏 ご希望の講師名に □ 山内 正文氏 □三浦 洋昭氏 □ 阿部 忠義氏 第一希望、第二希望の 数字を書き入れて下さい。 □ 遠藤 健治氏 □ 及川 吉則氏 □ 阿部 國博氏 ご希望日時 平成 年 月 H (肼 分から 分まで) 喆 団体業種 団体名 年齢層 人数 担当者名 連絡先電話番号 連絡先 FAX 番号 E-MAIL ① 当日現金払い ② 後日振込み 後日振込みの場合 支払い方法 請求先住所 〒 領収書宛名 【申し込み方法】申し込み用紙に必要事項を記入し、FAX (0226-46-3080) もしくは、 e-mail にて、 post@m-kankou.jp までお送りください。 (一社) 南三陸町観光協会 担当: 菅原